

令和3年2月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症の報告数は減少傾向ですが、その速度は鈍化してきています。
- インフルエンザは例年より報告数が少ないです。
- 梅毒の報告がやや減少しています。

◇ 全数把握の対象

〈2月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	4件
E型肝炎	4件	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
レジオネラ症	7件	水痘(入院例に限る)	1件
アメーバ赤痢	5件	梅毒	3件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3件	-	-

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O血清群不明1件、O128が1件(いずれも無症状病原体保有者)の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 2 E型肝炎: 4件(うち無症状病原体保有者1件)の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 3 レジオネラ症: 肺炎型5件、ポンティアック熱型2件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 4 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が5件あり、うち1件が性的接触による感染が推定されています。
- 5 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 3件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 6 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): 無症状病原体保有者が2件、AIDSが1件、その他が1件の報告がありました。うち3件が性的接触(同性間2件、異性間1件)による感染が推定されています。
- 7 侵襲性肺炎球菌感染症: 10歳未満が1件(ワクチン接種歴4回あり)、70歳代が1件(ワクチン接種歴不明)、90歳代が2件(1件がワクチン接種歴1回あり、1件がワクチン接種歴無)報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 8 水痘(入院例に限る): 50歳代の臨床診断例(ワクチン接種歴無)の報告が1件ありました。
- 9 梅毒: 早期顕症梅毒 I 期3件の報告がありました。いずれも男性で、うち2件が異性間性的接触による感染が推定されています。

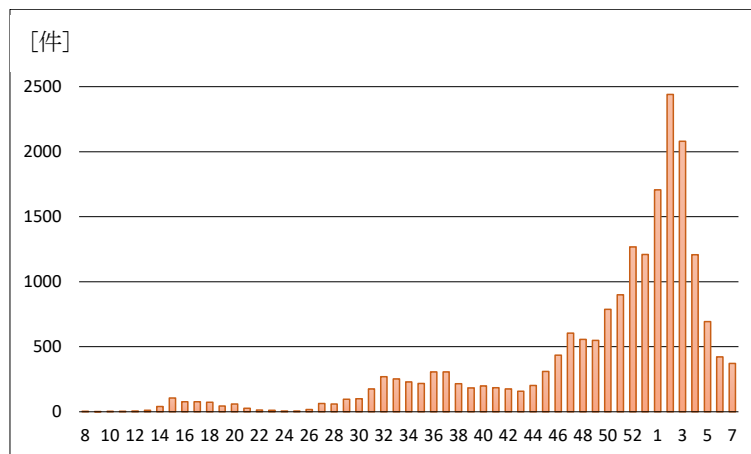
◇ 新型コロナウイルス感染症

第4週～第7週に横浜市から報道発表のありました症例は2,693件でした。

横浜市内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/yobosesshu/kansensho/coronavirus/kanja.html>

新型コロナウイルス感染症報告数
(報道発表ベース)

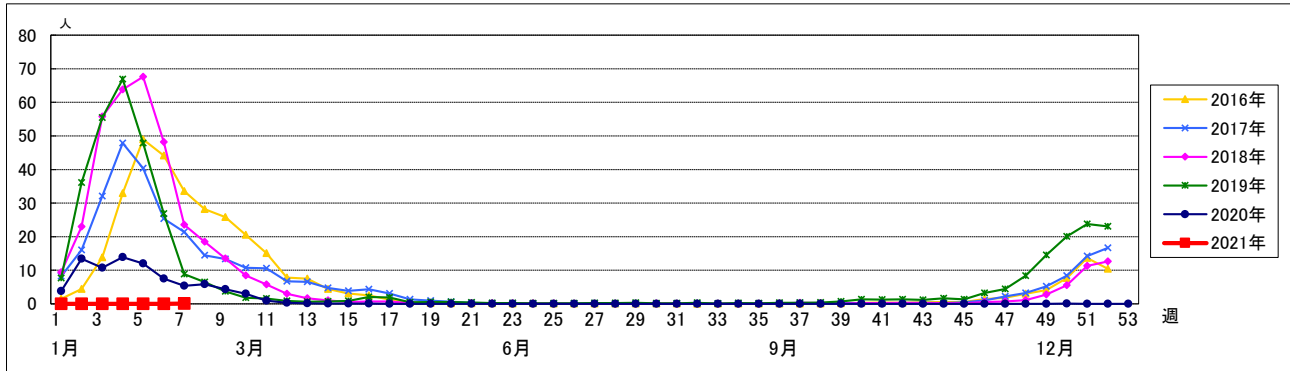


[週]

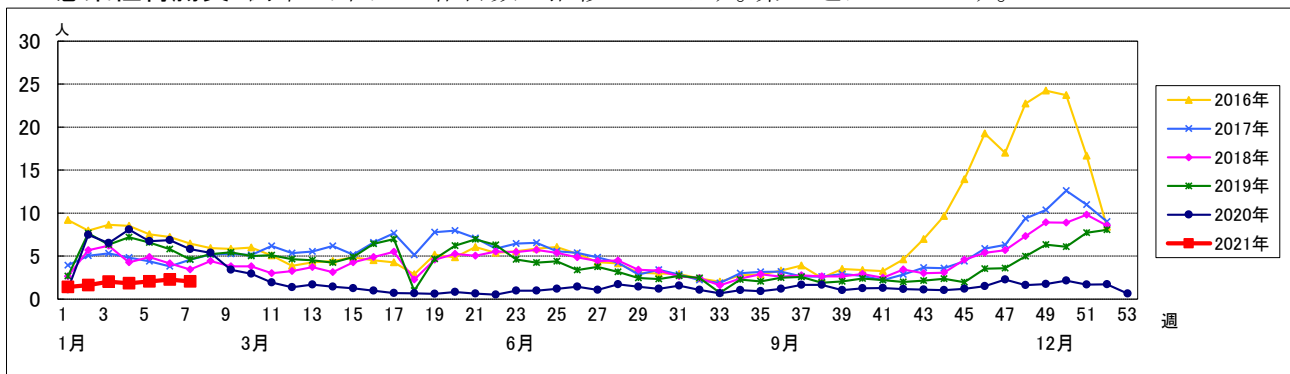
◇ 定点把握の対象:

報告週対応表	
第4週	1月25日～1月31日
第5週	2月1日～2月7日
第6週	2月8日～2月14日
第7週	2月15日～2月21日

1 インフルエンザ: 今シーズンは例年より低めの報告数で推移しており、第7週は0.02です。



2 感染性胃腸炎: 例年より低めの報告数で推移しています。第7週は2.06です。



3 性感染症(1月)

性器クラミジア感染症	男性: 17件	女性: 23件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 3件	女性: 14件
尖圭コンジローマ	男性: 3件	女性: 0件	淋菌感染症	男性: 8件	女性: 5件

4 基幹定点週報

	第4週	第5週	第6週	第7週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(1月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/eiken/>